



最上校図書委員会
No.3 5月25日

学校でも、大人も教えてくれない！

自分で探さなければ！！



こんな事、覚えておかないと！！！！

「なぜ僕らは働くのか」 池上彰監修

10代の子どもたち向けに、大人でも答えるのが難しいこの問いを考えるためのヒントがとても分かりやすく紹介されています。

「10年後に食える仕事 食えない仕事」 渡邊正裕著

AIやロボットに仕事が奪われる？と不安でいっぱいの人々。自分の将来が見渡せるようになります。ITを中心とするテクノロジーの進化で、日本人の仕事は大きく変化しています。AI時代に生き残る仕事、人間が能力を発揮できる仕事とは？リアル近未来の職業を図解も交え徹底解説！すべての人に必読の1冊です。



「18歳までに知っておきたい法のはなし」 神坪浩喜著

トラブルを防ぎ、幸せを呼ぶ、学校では教えてくれないととても大切な法律の話。いろいろな人がいる社会の中で、トラブルを避け、安全・安心で幸せな生活を送るために身につけたい法の知識。残念ながら、学校の授業ではそれらを学ぶ十分な時間を設けていません。幸せな社会生活を送るために知っておきたい法の知識や法的な考え方を簡単な言葉で綴った、これから社会に舟をこぎだす人のためのガイドブックです。



「世界一受けたい授業」(日テレ放送)に

大作家・五木寛之さんが緊急特別出演！

22年前に書かれた本「大河の一滴」が、なぜ今多くの人に読まれているのか？新型コロナウイルスが猛威を振るう今、どうして番組に出演してくれたのか？

“できることからやろう”・・・不安な今を生きる私たちへ五木さんからの今どうしても伝えたい、心に響く、力強いメッセージ！大河の中の一滴だから、頑張っても意味がない・焼け石に水、のような？いや、逆に、一滴が集まって大河を作っているのだ、という事？とか、想像します。 実際、決まった意味はあるのでしょうか。



◆濁水をただ嘆くな！

「どんな時にでも何かできることはある」

「泣くのはいいけど泣きごとは言うな」

◆本当に辛い時こそ“ユーモア”を持て！

「生きていくうえで人は笑いが必要である」

◆極限状態を乗り越えられる人は、

『おはよう』や『いただきます』が言える人！

「本当に最後に生き残れるのは、社会的ルールを守れる人である」

◆自分はもうダメだと覚悟を決めた人間に『頑張れ』と言わない！

「相手に寄り添い、苦しみを分かちあえること」

◆悲しい時には悲しい歌を

「涙をこらえつつも歩いていこう」

坂本九さんの『上を向いて歩こう』

上を向いて歩こう 涙がこぼれないように

思い出す 春の日 一人ぼっちの夜

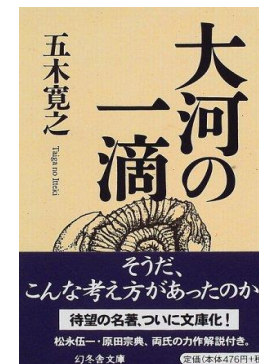
◆人はみな『大河の一滴』である

「人は大河の一滴」

それは小さな一滴の 水の粒にすぎないが

大きな水の流れを かたちづくる一滴であり

永遠の時間に向かって 動いていくリズムの一部なのだ



朝読書オススメ新刊

5分後シリーズ・

怪談シリーズ・

54字の物語 新刊書入荷！

《5分後に謎解きのラスト》

やっぱりミステリーが必要だ！ 真実を見つけたとき、感動、戦慄、驚愕……あらゆるラストが待っている！

《5分後に君とサヨナラのラスト》

別れにはいろんな気持ちが詰まってる！ サヨナラの話だけを集めた短編集。恋、苦しみ、恨み、哀しみ、あらゆるラストが待っている！

《5分後に呪われるラスト》

読んでしまったら、もう、あなたは呪いから逃れられない。

《意味が分かんないと慄く話》 藤白圭著

最強・最恐・最凶！！

真の意味に気づいた瞬間、恐怖に震える。

穏やかな本文が解説によって牙をむく！

《54字の物語 ZOO》

イヌ・ネコ・パンダ・恐竜・ツチノコまで！！

動物の豆知識も収録！！ズーッと楽しめる90話！

《怪談5分間の恐怖》 中村まさみ著

「幽霊のびんづめ」
「金縛り」
「覚めない怖い夢」
「呪いの人形」
「心霊写真は語る」



「死んだらどうなるのか？」 伊佐敷隆弘著

誰もが一度は考えたことがある死後について、自身の考え方を知る手がかりになる一冊。ちょっと難しいですが、10代で読んでおきたい本です

「もしも刑務所に入ったら」 河合幹雄著

全国の矯正施設を視察した著者による、刑務所の内情がわかる解説書です。知られざる刑務官の仕事や、刑務所が抱える問題にも焦点を当てていて興味深いです。

「できない相談」 森絵都著

自分だけの小さな抵抗というテーマを描いた、ちょっと変わったショートショートを38編を集めました。

「キッドの運命」 中島京子著

奇想天外に思えても、現代の社会問題につながる、心ざわつく6編を味わいましょう

「逃亡者」 中村文則著

今どんな物語を世に送り出すべきか、とことん突き詰めて考えました。

「緋色の残響」 長岡弘樹著

菜月がかつて通っていたピアノ教室で生徒がレッスンの休憩中に急死する。死因は食物アレルギー。不慮の事故と思われたが犯人の存在が浮上する。シングルマザー刑事の羽角啓子と新聞記者を志す一人娘の菜月が活躍する連作5編。

「暴虎の牙」 柚月裕子著

警察小説『孤狼の血』シリーズ、ついに完結！

今村翔吾シリーズ「くらまし屋稼業 花唄の頃へ」

旗本の次男、三男の悪友仲間4人のうち一人、剣の達人であった三郎太が何者かに暗殺される。自分たちもターゲットになるのでは？ と考えた残りの3人は……。

※ぜひ、図書館へ

